

ごみについて考えよう

■プログラムの概要

ねらい	学校や家庭において出されるごみの現状や分別の方法について知り、ごみを減らすためには何をしたらいいのか自分でできることを具体的に考える。		
キーワード	ごみ・資源		
対象	小学4年～一般		
時間	90～100分	実施場所	教室
使用するもの	ワークシート、いろいろな種類のごみ（汚くないもの）、ごみの分別カード ごみを減らす社会をつくるにはカード、3Rシート、各班の答えメモ 資源とごみの分け方・出し方パンフレット、天秤ゲームの道具(詳しくは使用するもの参照)		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 導入 朝起きてから学校に来るまでに捨てたごみは何かを思い出す2. クイズ3. 板橋区のごみの量の推移 学校と家ではごみの分別方法が違うことを知る4. ごみ分別ゲーム5. リサイクルできるごみ6. ごみのゆくえ7. ごみを減らす社会をつくるには？ゲーム8. まとめ		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	<p><導入></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝起きてから学校に来るまでに捨てたごみは何かを思い出す ワークシートに書き、発表できる児童は発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別など親任せで、ごみは捨てていないという児童も多いが、実際に毎日捨てていることを自覚させる
3分	<p><クイズ></p> <p>3人家族が1日出すごみの量はどれくらいでしょう？</p>	
5分	<p><板橋区のゴミの量の推移></p> <p>学校と家ではごみの分別方法が違うことを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ごみが減った理由の解説。市民の分別やごみ減量意識向上、企業の包装材の減量努力、景気の低迷など
32分	<p><ごみ分別ゲーム></p> <ul style="list-style-type: none"> 資源とごみの分け方・出し方パンフレットを見ながら、本物のごみを班ごとに分別する 正しい分け方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ごみを捨てたことがない児童が多く、パンフレットを見ながらでもわからない児童がいるため、十分学習になる
	休憩	
2分	<p><リサイクルできるごみ></p> <p>使用済み小型家電や廃食用油・古布・古着の拠点回収が始まったことを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ分別ゲームではごみに分別できるものも資源として回収されていることを知り、ごみを減らす手段が増えたことを知る。
5分	<p><ごみのゆくえ></p>	<ul style="list-style-type: none"> 最終処分場の限界を知る
15分	<p><ごみを減らす社会をつくるには?ゲーム></p> <p>3種類のゴミのカードについて、各カードの中で一番ごみを減らすカードはどれかを班で話し合い、選ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトル、おかし、メモ用紙について4種類の行動が書かれているがその中で一番ごみを減らす行動を選ぶ（個人の意見を通さず話しあうよう指導する）
10分	<p>班対抗でトーナメント戦を行ない、どの班がごみを減らす行動を選んだか競争する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各班の答えメモを提出してもらい封筒に貼る。指導者は児童に見えないように早見表に対応する数のクリップを封筒に入れる。それを天秤で計り競争する。※軽い方が勝利
8分	<p>選んだカードや残ったカードを3Rシートに当てはめ、リデュースがごみを減らす行動だと知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 勝ち負けで児童は興奮するが、リデュースの行動のカードを選ぶと勝てることを知らせる
5分	<p><まとめ></p> <p>ごみを減らすために自分が出来る行動を具体的に考え、ワークシートに記入し、発表する。</p>	

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
ワークシート	人数分	
いろいろな種類のごみ（汚くないもの）	一人が1～2個 分別できるくらいの数	触って嫌にならないようなごみを可燃・不燃・資源・拠点回収（公共施設やお店）などできるだけ多くの種類を集める 判断に困りそうなものを集める 例：空き箱、空き缶、雑誌、ボトル類、ビン類、傘、テニスボール、ペットボトル、アルミホイル、菓子のアルミシート、お菓子の空き袋、新聞紙、雑誌、服、ダンボール、ティッシュの空き箱、牛乳パック、乾電池、ペン、鉛筆、消しゴムなど、汚れていないもの ※ごみが準備できない場合は傘や服などを用意し、これが使えなくなるとごみになったとして考えようと説明する ※全てのものを班の数準備しなくてもよいが、複数準備できる場合はいくつかの班に同じものが行くと班ごとに分別方法が違って面白い。
ごみの分別カード		上記ごみを分けるためのカード 可燃・不燃・資源・拠点回収（公共施設やお店）
ごみを減らす社会をつくるには？ゲーム準備物	班の数	<天秤の作り方> 50cm の定規の真ん中と両端にタコ糸を結びつけ、両端のタコ糸にはダブルクリップを通し、セロハンテープ又はビニルテープで止める。（両端から同じ位置につける） 真ん中のタコ糸を吊るして平行になるよう調節する。 用意するもの：ダブルクリップ 2 個（おもりと同じもの）・タコ糸 1m くらい <封筒に入れるダブルクリップ> サイズ 25mm 幅 1 個約 6g 1 班 6 個×班の数を準備する。 ※学校にあるものをご利用ください。 ※ダブルクリップがない場合はビー玉でも可（ビー玉直径 1.5cm も 1 個 6g） <封筒> 学校で使う長形 3 号封筒程度のサイズ クリップが入る大きさがあれば良い。 同じサイズのもの×班の数を準備する <印刷物> ごみを減らす社会を作るにはカードを印刷して切る ごみを減らす社会を作るにはゲーム早見表を印刷
3R シート	班の数	ごみを減らす社会にはカードを 3R に分類するために使用
各班の答えメモ	班の数	どの班の答えかわからなくならないように
資源とごみの分け方・出し方パンフレット	班の数	

■実施にあたって留意する点

- ・資源として区で回収されるものも増えてきているので最新の情報を提供する。
 - ・一般（大人）向けのプログラムとしても十分活用可
資源とごみの分け方・出し方パンフレットを見ただけではわかりにくいものも多い。
その場合は自分で分別に困るようなものを持ってきてもらうと良い。
 - ・「ごみを減らす社会をつくるにはカード」は一組だけ重さの違うものを作ればいいので、3R
+増やす内容になっていれば、カードの文言は使いやすいように変えても良い。
-
- ・天秤ゲーム見本

